



パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する 国際会議について

令和4年3月17日（木）
環境省 地球環境局 国際連携課



パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議の背景



- **気候変動とSDGsの相互関係**から、統合的な対策を講じることで多くの利益創出が期待。資源の効率的利用、セクター・アクター間の一貫性の向上、新たなパートナーシップ形成への貢献に繋がる。
- 2020年以降、COVID-19に伴うパンデミックにより、一部のSDGsで後退も。1.5度目標達成に向けても、必要な排出削減レベルと各国の取組には隔たりがある。
- 国・地域・グローバルレベルの各状況に応じた**コベネフィットの最大化**とともに、行動や協力の加速化が必要。
- 2030アジェンダとパリ協定は、気候変動対策とSDGs実施における確固たる基盤であり、これらの**相乗効果（シナジー）**の強化を図る、統合的なアプローチが必要不可欠。



第1回会議の概要



開催概要

日時：2019年4月1～3日

場所：コペンハーゲン（デンマーク）

主催：UNDESA（国連経済社会局）・UNFCCC（国連気候変動枠組条約事務局）

共催：デンマーク王国外務省、デンマーク王国エネルギー庁

参加者：各国政策立案者、専門家、関連国連機関代表者等、400名程度



CLIMATE & SDGS
SYNERGY CONFERENCE



1-3 APRIL
COPENHAGEN



世界、地域、国レベルでの気候変動対策とSDGsの相乗的な実施の促進を目的としたパネルプレゼンテーション、ハイレベルセッションが開催。



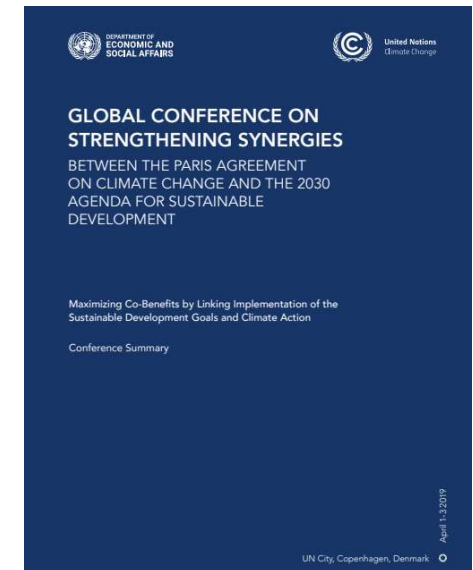
[Climate and SDGs Synergy Conference ... Sustainable Development Knowledge Platform \(un.org\)](https://un.org/)

第1回会議の成果



■ 総括文書（*Global Conference on Strengthening Synergies Between the Paris Agreement on Climate Change and the 2030 Agenda for Sustainable Development*）の発行

- ✓ 野心引き上げ、行動の促進、コベネフィットの最大化、マルチステークホルダーパートナーシップの必要性
- ✓ 国別排出削減目標（NDC）、国家開発計画（NDP）、国家適応計画（NAPs）、国連HLPFのVNRレビュー、「仙台防災枠組」や「アディスアベバ行動目標」等の組合せによる **シナジー（相乗効果）の有効性** を提示



■ グッドプラクティスの普及、知見の共有を目的とした、気候-SDGs間のシナジーに関する「グローバルナレッジフォーラム」設立合意

<https://sustainabledevelopment.un.org/climate-sdgs-synergies2019>



第1回会議後、COP25におけるフォローアップの動き



- **COP25（マドリード）**では、UNDESAが会合のフォローアップとして**SDG Pavilion**を設置（以降のCOPで継続）
- 日本は環境省等がUNDESA・UNFCCCと共催で、SDGsとパリ協定に加え、防災および生物多様性とのシナジー向上に関するサイドイベントを実施（2019年12月11日）



<https://enb.iisd.org/events/chilemadrid-climate-change-conference-december-2019/selected-other-side-events-coverage-11#event-4>

リュウ・ジェンミン氏（国連経済社会問題担当事務次長）、水鳥真美氏（国連事務総長特別代表（防災担当）兼国連防災機関長）などが登壇
小泉環境大臣（当時）が日本がシナジー会合をホストすることを表明

第2回会議の概要



開催概要

- 日時： 2020年5月28日、6月11日、6月25日
- 場所： ジュネーブ（スイス）を予定。COVID-19感染拡大により、オンライン・コンサルテーションとして開催



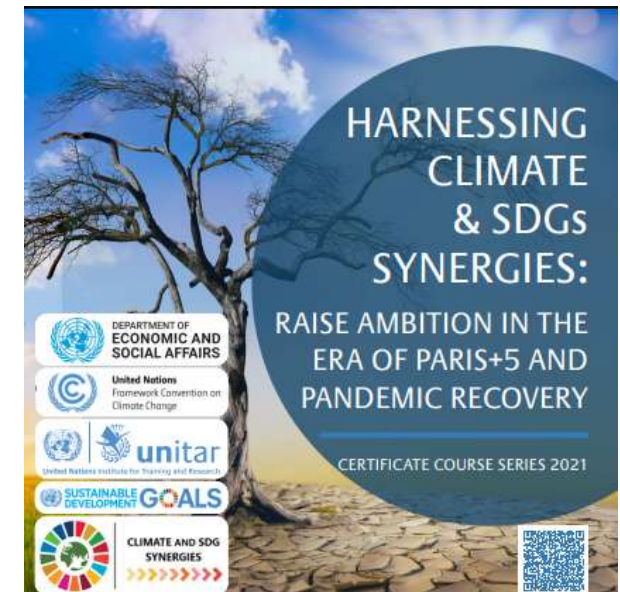
3回のウェビナー形式で、各国や関連機関代表による知見や実践の共有が行われた。

1. 持続可能で、公正かつレジリエントな復興に向けた見通し（5月28日）
2. 公正な移行と経済回復のためのシナジー（6月11日）
3. COVID-19からの復興に向けた、気候変動とSDGsのシナジーによる前進（6月25日）

第2回会議の成果



- コンサルテーションでのオンライン学習拡充の提言を踏まえ、バーチャル学習シリーズとしてウェビナー開催（2020年12月15日、2021年1月19日、2月2日）
- 学習シリーズの成果をまとめた総括文書（*Harnessing Climate and SDGs Synergies: Raising Ambition in the Era of Paris +5 and Pandemic Recovery*）発刊
 - ✓ 気候変動、SDGs、COVID-19の3つの危機に対し、シナジーを生む政策立案
 - ✓ 政策決定に活用できる「ネクサス・クラスター（nexus clusters）」の提示
 - ① 農業・食糧・気候変動
 - ② エネルギー・水・気候変動
 - ③ 大気汚染・健康・気候変動
 - ④ 都市開発・運輸・建設・気候
 - ⑤ 持続可能な消費・生産・汚染・気候変動
 - ⑥ 林業・砂漠化・生物多様性・気候変動
 - ✓ マルチステークホルダー参画の重要性、キャパシティビルディングや国内外での資金獲得などの実施手段、NGOや民間セクターの役割
- 学習シリーズ・総括文書を受けたe-Learningコースを国連訓練調査研究所（UNITAR）との協力で開発・提供



開催概要

第3回 パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議

- 日時： 調整中
- 形式： ハイブリッド開催（国連大学の会場を使用予定）
- 主催： UNEDESA・UNFCCC
- 共催： 日本国環境省
- 協力： 国連大学（UNU）、地球環境戦略機関（IGES）
- 内容： パリ協定の1.5度目標に向け、気候対策への野心を高めるとともにSDGs達成に向け相乗的な行動基盤の構築を目的とした各種セッション